



Fibromyalgia Awareness Japan

5月12日は 線維筋痛症 の世界啓発デーです。

(筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群により50年床に伏したと言われるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日(5/12)にちなみ、この日を「筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群 世界啓発デー」としたのが始まりで、合併しやすい線維筋痛症と化学物質過敏症も同日が啓発デーとなりました)

線維筋痛症は診断・治療ができる医療機関は全国でまだ数えるほどで、医療・福祉の体制が整っていません。2011年に実施されたインターネット調査から、日本の線維筋痛症患者数は全人口の2.1%、約212万人と推計されますが、適切な治療にたどり着けていないケースはかなり多いと推測されます。

見えない痛みや疲労は周りから理解されず、適切な治療や支援を受けられず、患者さんは大変に苦しんでいます。

世界啓発デーを通して線維筋痛症の周知をはかり、孤独に闘病する患者さんに少しでも希望の光を届けられるよう、今年から学会としても活動して参ります。

今年からは学会 HP および Twitter にて啓発して参ります。



Fibromyalgia Awareness Japan

ロゴデータ